逃げずに 信じて 感謝 協力
10月
2026年度
西神吉小だより
加古川市立 西神吉小学校
学校通信
No.103

～ ４年　アスリート派遣授業 ～

令和５年度からスポーツ庁事業「アスリート派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業」（通称:#アスリーチ)がスタートしました。アスリート全国学校派遣プロジェクト『アスリーチ』は、「アスリート＋リーチ（ reach ）」の造語で、アスリートを広く全国の体育授業に派遣し、行く先々で出会う子どもたちが明日の目標に手を届かせるきっかけとするプロジェクトです。この事業では、子ども達が各方面で活躍するアスリートと直接触れ合い、運動の多様な楽しみ方やできる喜びを味わう事で、望ましい運動習慣の形成や体力・運動能力向上につながる体育授業等の充実を目指しています。

本校でも昨年度に引き続き、先日の１０月１９日（月）の３・４時間目に体育館でこの授業が実施されました。昨年行われた第２５回夏季デフリンピック競技大会（東京 2025）で卓球団体３位のメンバー、亀澤史憲（かめざわふみのり）さんをお招きし、４年生を対象に行われました。亀澤さんは、生まれつき音が聞こえ難く、補聴器をしていても、はっきりと聴き取ることができません。それでも、幼いころから野球や水泳などのスポーツを楽しんできたそうです。高校へ進学し、卓球と出会い、デフリンピックに日本代表として出場することが夢となり、その夢を実現するためには、何をすればいいのか、考え抜いたそうです。ただ何となく卓球をするのではなく、夢をもち、そのために何をすべきかを考え、ひとつひとつクリアしていったことが、団体３位、銅メダルという夢の実現につながったのだと、子ども達に語っておられました。

実際に子ども達と一緒に卓球をしている亀澤さんの姿を見ると、耳が不自由だとはとても思えません。「音」は卓球をするうえで、重要な要素のはずです。亀澤さんは、音が聞こえにくい分、目で見て、集中力を高めて競技に挑むそうです。すごいです。

亀澤さん、４年生の子どもたちの心に残るステキな授業を、本当にありがとうございました。

西神吉っ子の一コマ





















